



裏表紙

クリオネのうみ



• さく・え 幸徳環境設計

表紙

クリオネたちは、ほっかいどうの うみに、
1がつころ、りゅうひょうと いっしょに あられます。

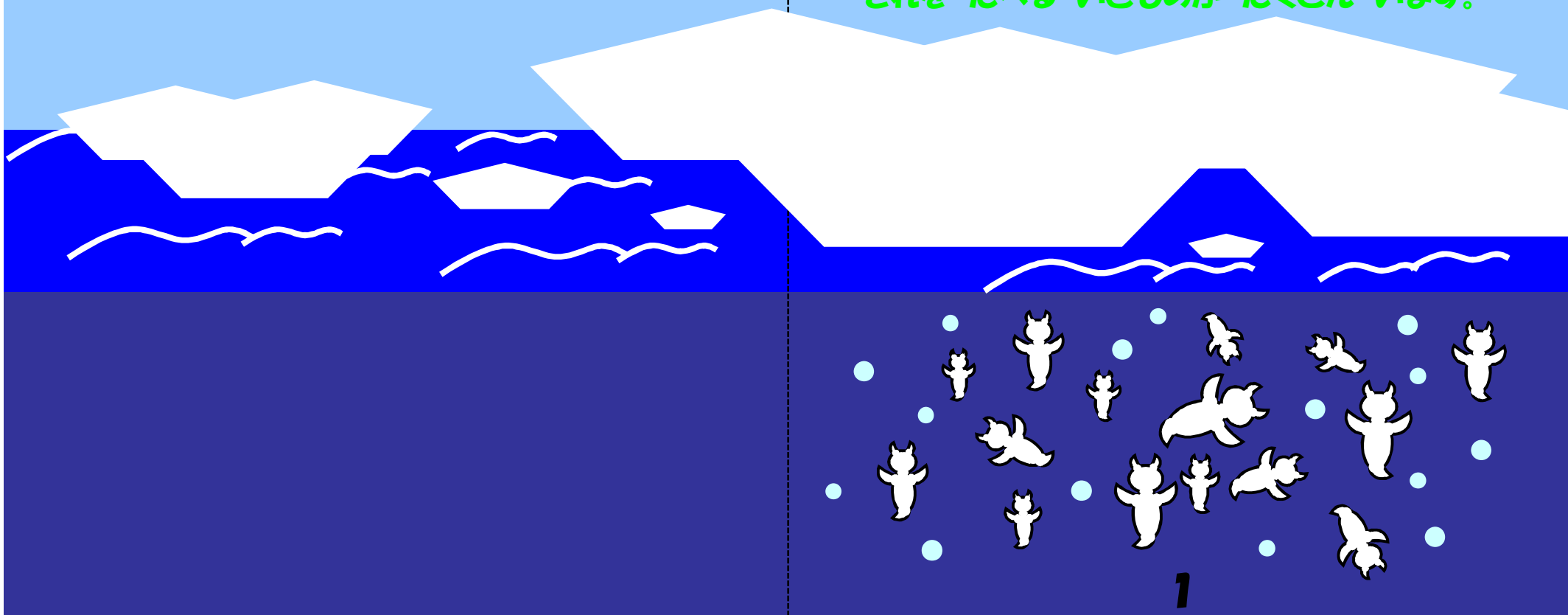
りゅうひょうの したには、たくさんの
ちいさな いきものが、あつまっています。

クリオネたちは、このしたに あつまっている
ちいさな いきものを たべて いるのです。

そして、ほっかいどうの うみから、
りゅうひょうが きえる 3がつころに
クリオネたちも、いなくなります。

★クリオネ メモ★

りゅうひょうの したには、りゅうひょうから
とけて でてきた えいようが たくさん あります。
それを たべる いきものが たくさん います。



クリオネは、かいの なかま なんです。
にほんでは、ハダカカメガイ といいます。
クリオネの つばさのようなものは、あしです。
この あしを、パタパタして、じゆうに およぎます。
むねに ついている きれいな もようは、
からだか すけているので、からだの なかが
みえて いるのです。

あたまに ついている 2ほんの つのは、
においを かんじる はなの やくわいを すると
いわれています。

それでは、そんな クリオネたちの せかいを
そおと、のぞいて みましょう。



★クリオネ メモ★
クリオネの おおきさは
2.3cmです、
みんなが だいすきな
グミと
おなじぐらいかな？

ここは、ほっかいどうより きたにある
ほっきょくの うみです。

いゅうひょうの したで、クリオネの こどもたちが
わに になって、あそんでいます。

なにを して、あそんで いるのでしょうか。

なにやら、こえが きこえて きます。

みみを すまして、きいてみましょう。

「ねえ、みんな、いっしょに ちからを あわせよう！
ぼくらは、まだ じょうずに およぐ
ことができないから ながされないように、
みんなで てを しっかり つなごう！」



ほっきょくのうみの りゅうひょうが、すこしずつ
ほっかいどうの うみに ちかづいて ながれてきます。

けれど、じょうずに およぐことが できない
クリオネのこどもたちは、おたがいに てを つなぎ、
ながされないように、たすけあって います。

しかし、このひは かぜが つよく、りゅうひょうの
ながれが、とても はやく なっています。

とうとう、あかい クリオネが ながされて
しまいました。

「わあ、たすけて！ みんな、たすけて！」

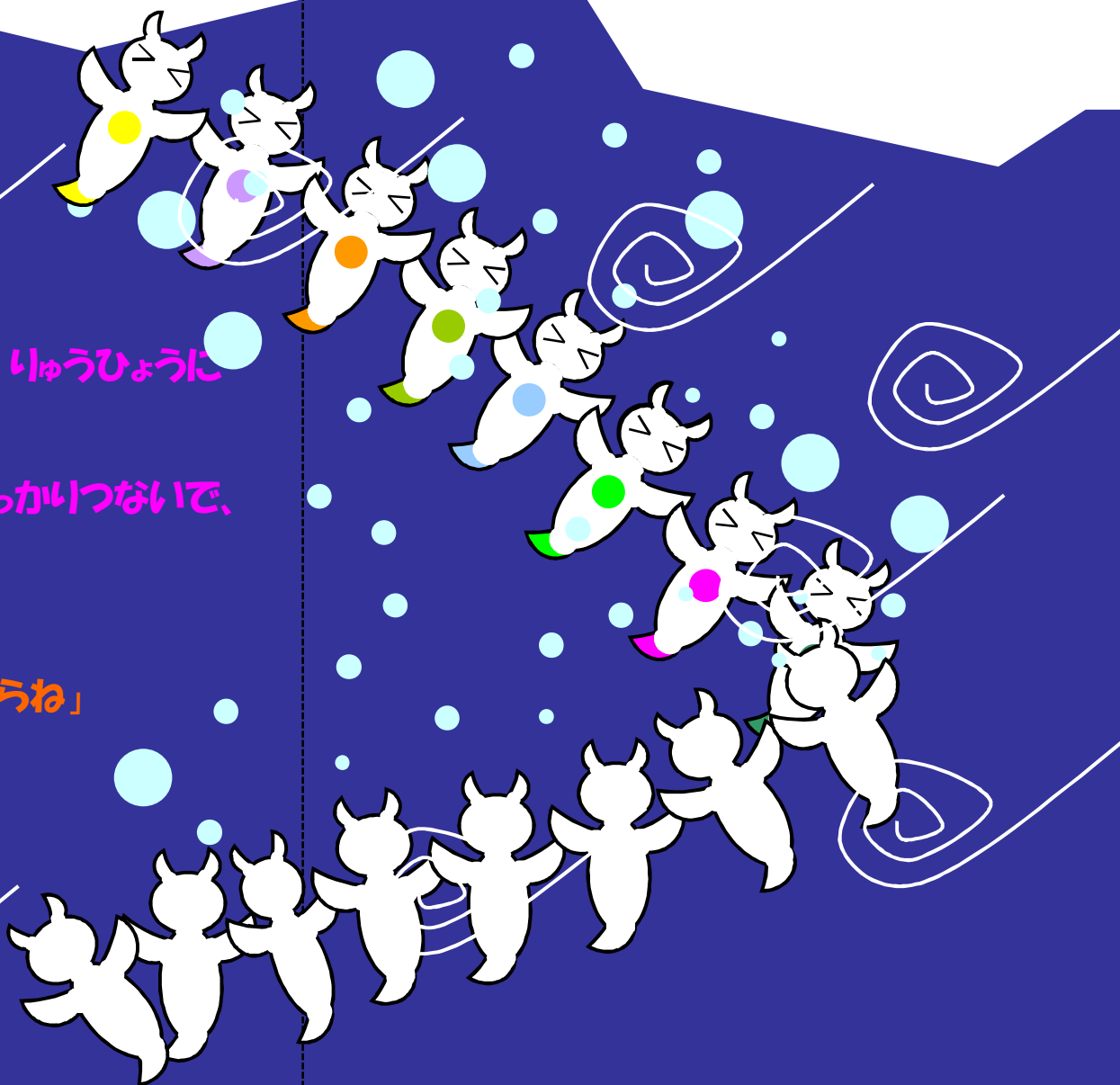
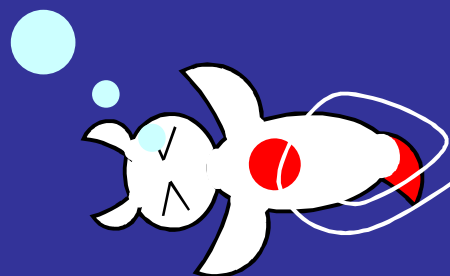
「しんぱいしないで！ みんなで、なんとか
するから」



すると、まず 1ぴきの クリオネが りゅうひょうに
つかまりました。

そして、つぎに みんなで てを しっかりつないで、
1ぽんの ローフをつきました。

「まってね、いまずぐに たすけるからね」



クリオネの こどもたちが ちからを あわせて
つくった ロープに よって、ながされて しまった
あかい クリオネを たすける ことができました。

「もう、だいじょうぶだよ！よかったね！」

「ありがとう、みんな！」

「ほんとうに、ありがとう！」



グリオネの こどもたちは、みんなで たすけあい
ながら、まいにち まいにち、すこしずつ
せいちょう していきます。

まいにち まいにちを、とても たのしく
みんなで すごしています。

けれど、いゅうひょうの したに、あつまってくる
いきものは、グリオネたち だけでは あいません。

ときには、こんな いきものも、あらわれます。

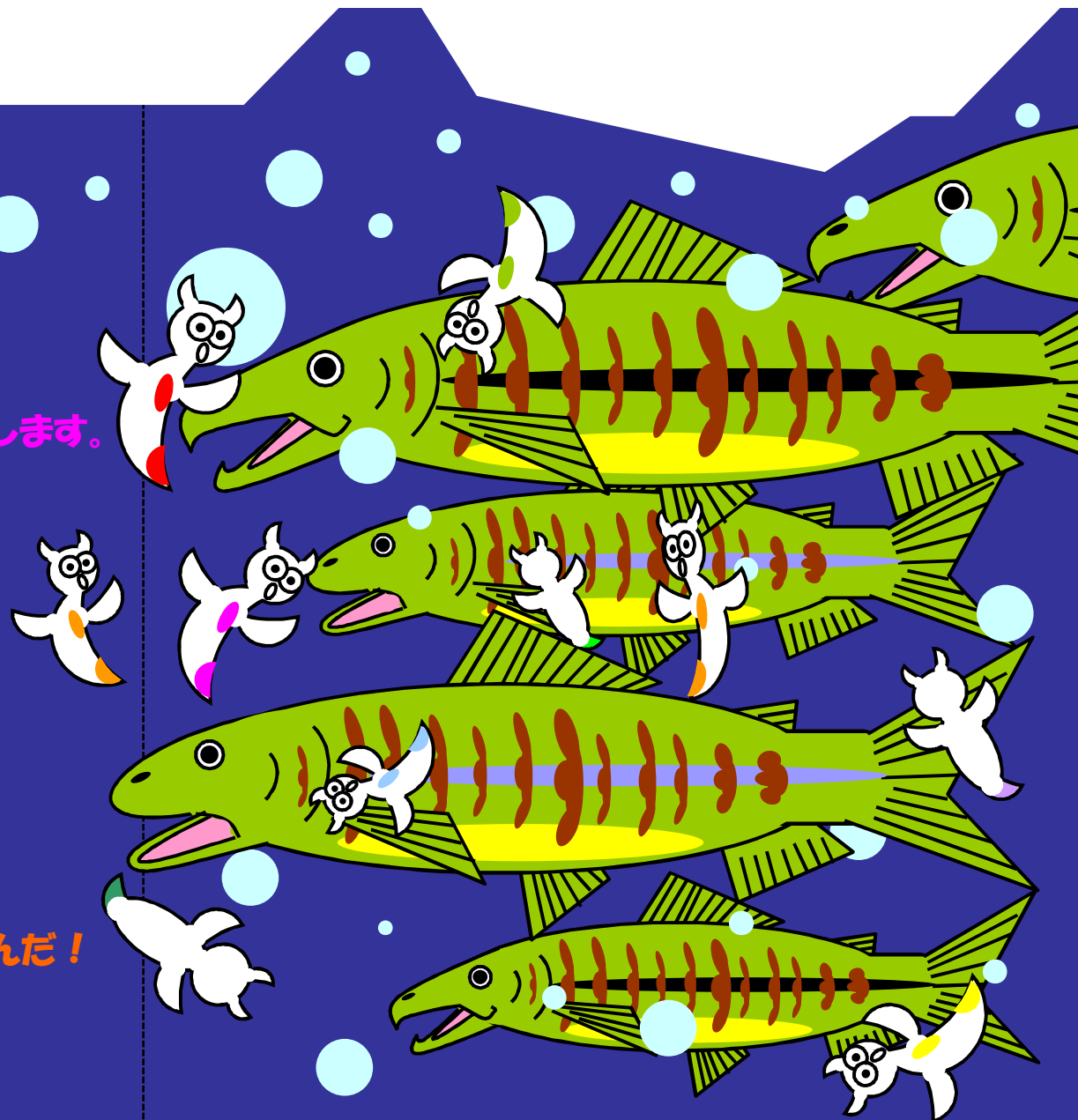


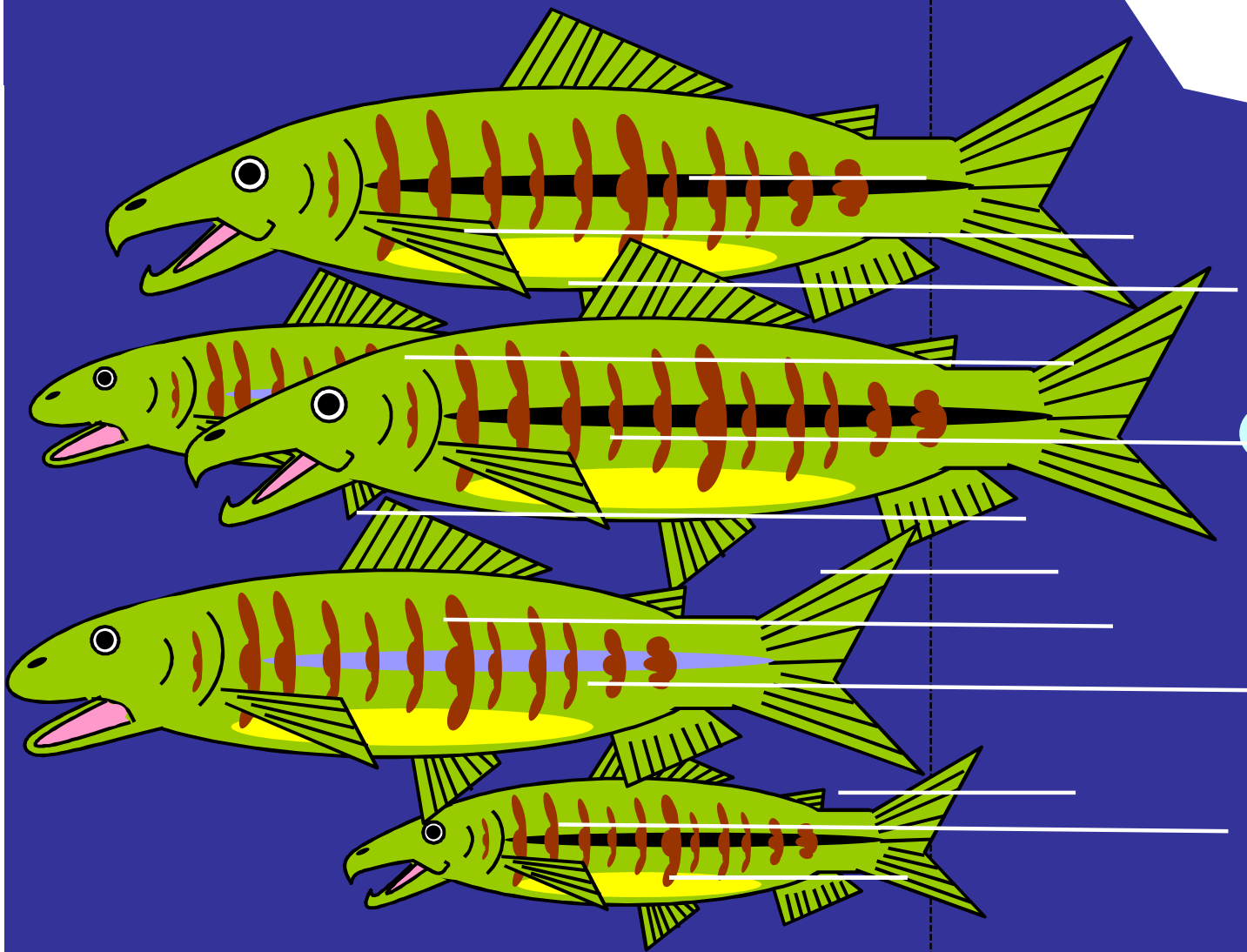
★クリオネメモ★

さけや、ます、にしんなどは、クリオネを
えさに しているんだよ。

とつぜん、サケの むれが やってきました。
サケたちは、おおきくなるまで うみで すごします。
そして あきになると、たまごを うむために、
うまれた ほっかいどうの かわに もどきます。
ですから サケたちは、りゅうひょうよい
ひとあしさきに ほっかいどうに むかいます。
それにしても このサケたちは、すこし
おくらしている ようですね。

「どけ、どけ、どけ！ おれたちは、いそいでいるんだ！
おまえたちを たべている ひまは、ないんだ！
だべられたく なかったら、どけ！どけ！」





カノネたちは、そんな サケたちを おうえん
 するために、みんなで きょういよくして、
 てんしのわを つくいました。

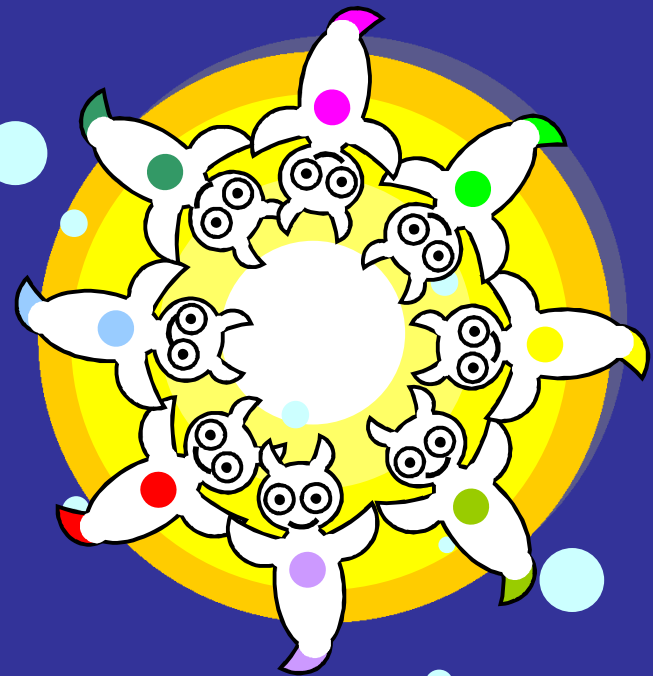


「サケさん、がんばって くださいね！
 がんばって、いい たまごを うんでくださいね」

いゅうひょうが、ほっかいどうの うみに
ちかづくにつれて、クリオネたちは せいちょう
していきます。

すこしずつ、みんなの きもちが
ひとつに まとまって いきています。

「みんな、みんな、だいぶ じょうずに、
およげるように なってきたね」
「もっと、もっと、がんばろうね」

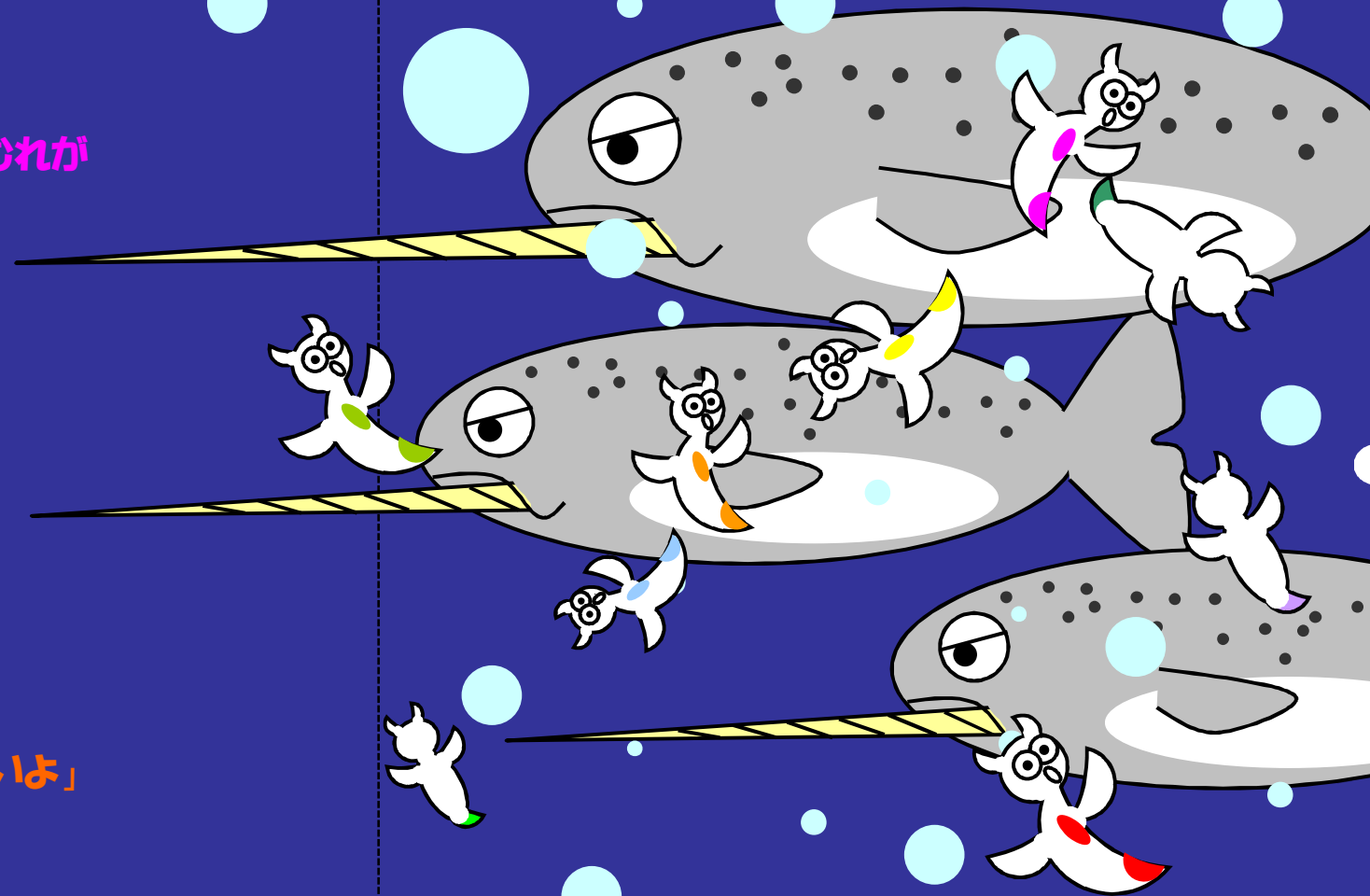


そんな あるひの ことです。
こんどは、イッカクの おすの むれが
あらわれました。
どうした ことでしょう。

「おい、おまえたち。
おいしそうな さけの
むれを みなかったか？
していたら、おしえろ」

「知らないよ、ほんとうに、知らないよ」

「ほんとうだな」



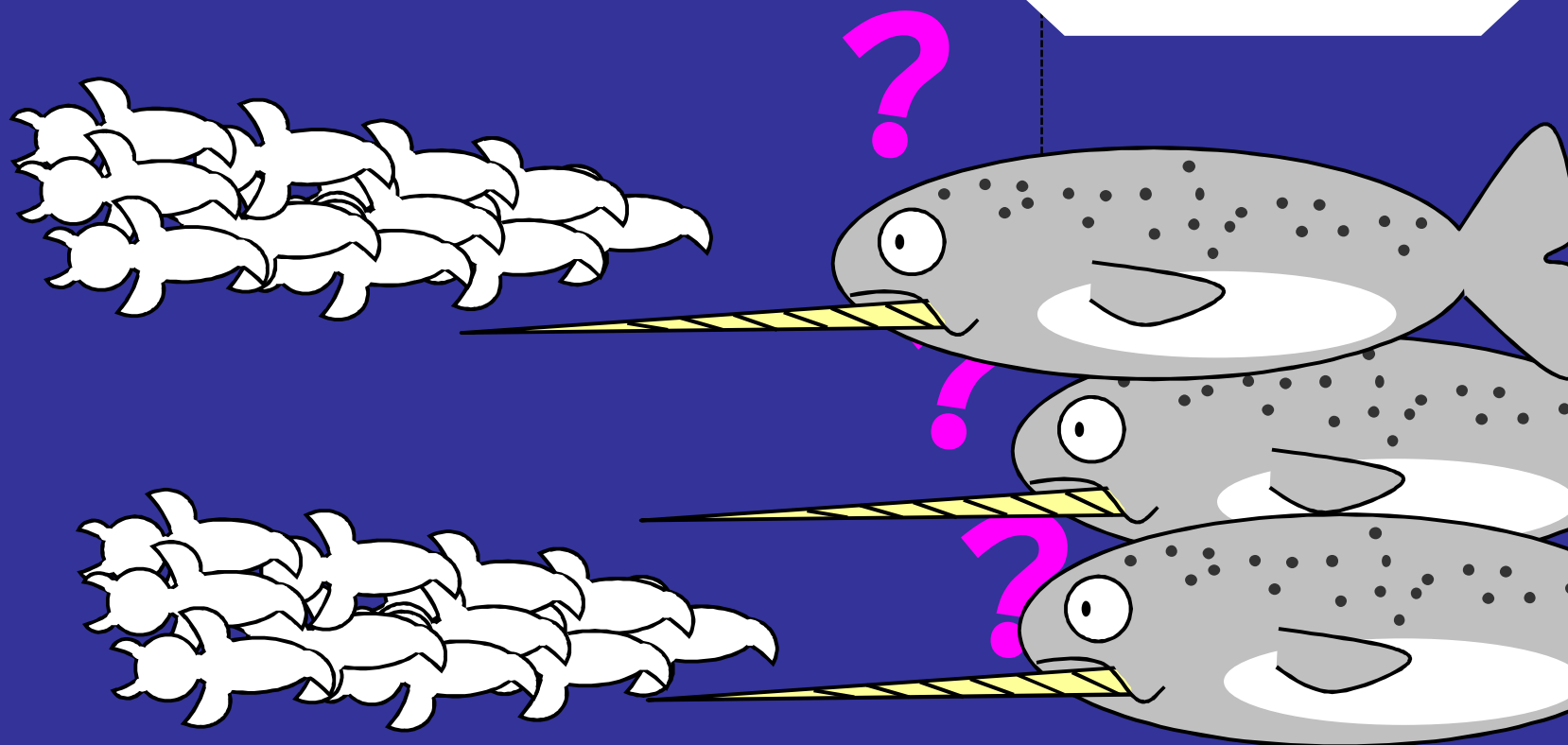
イッカクたちは あきらめて、といあえず
ひきかえし ましたが、きっとすぐに サケたちを
さがしに もどって くるはずです。

クリオネたちは、サケたちを たすけるために、
なにやら そうだん しはじめました。

「みんな、ちからを かして！
けって かわくなんか ないよ！」

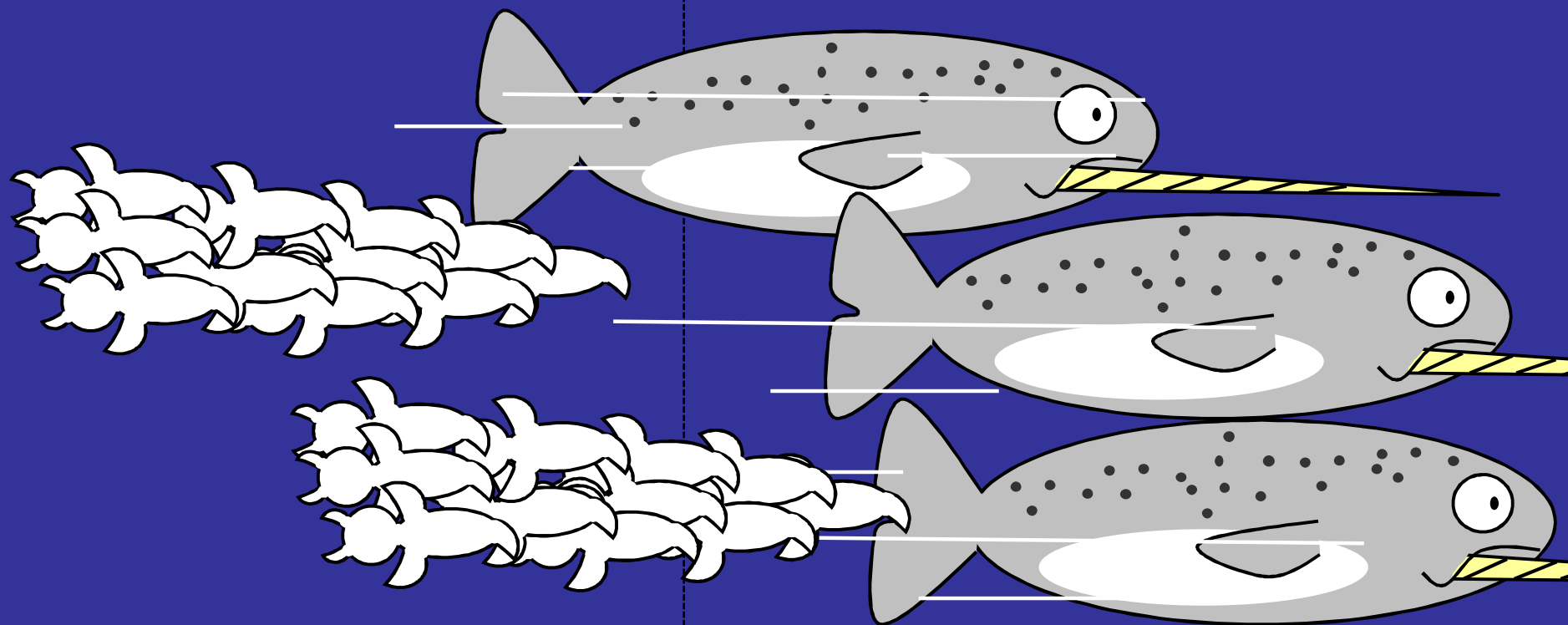


やはり イッカクたちは、もどって きました。



「おい、みんな とまれ」

「おれたちより、いっぱい つのが あるぞ」



イッカクたちは、クリオネたちが みんなで
つくった おおきな つのに おどろいて
にげだして しまいました。

「やばい、はやく にげろ！」
「もう サケたちなんかは、ほっとけ！」
「おれたちが、やられちまう、はやく にげるんだ！」

いゅうひょうは、もうすぐ ほっかいどうの
うみに たどりつきます。

ケリオネたちは、ほっきょくのうみから
ほっかいどうのうみに たどりつくまでのあいだに、
みんなで きょういよくし たすけあえば、
どんな こんなんでも、のりこえられると
きがつきました。



そういえば、クリオネの こどもたちに、
かわったところが、ありますよね？
わかりますか？

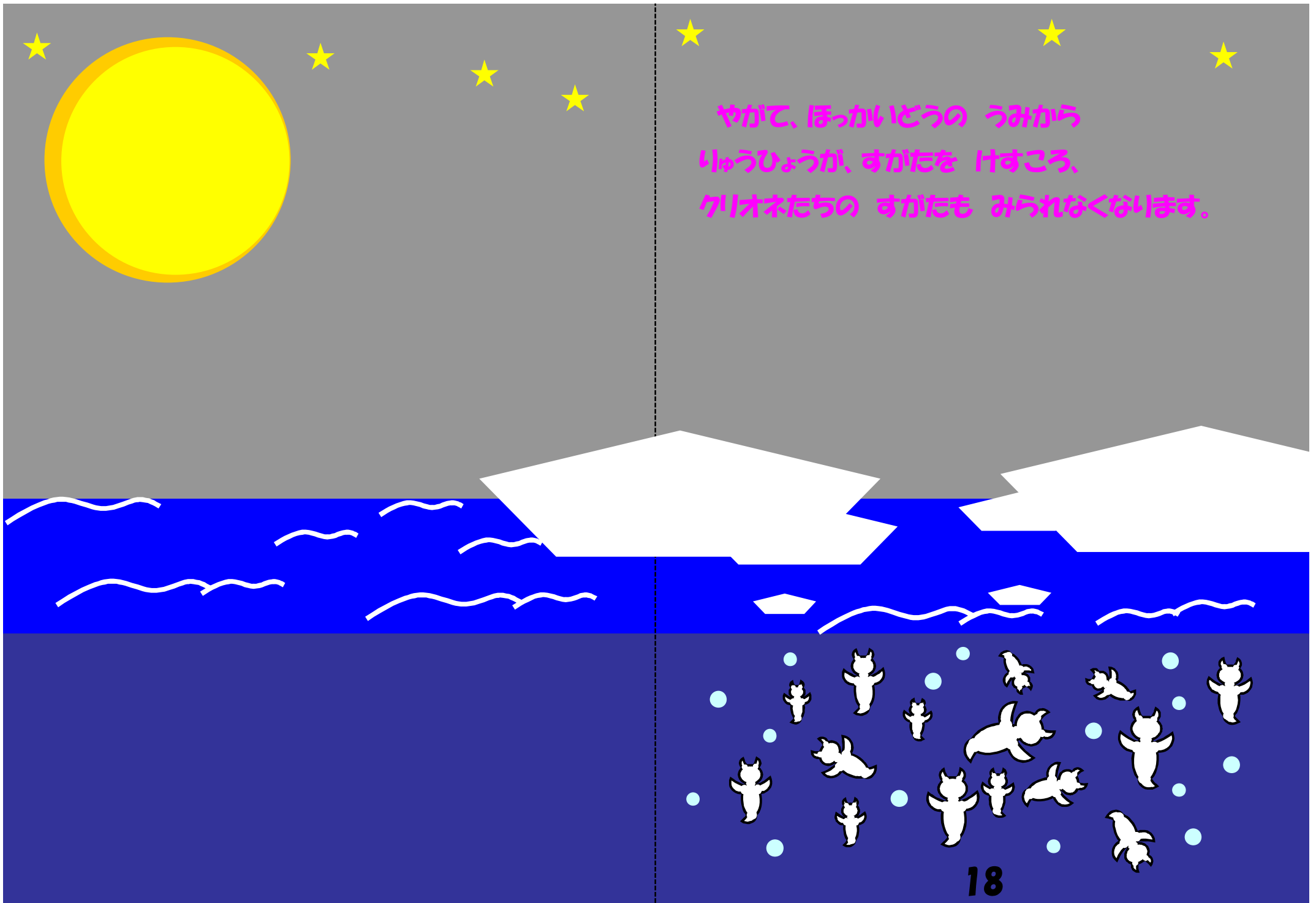
そうです。
むねに ハートのもようが
できました。

きっと、クリオネたちの やさしい
きもちが、ハートの かたちになって
あらわれたのでしょう。



こうして クリオネたちは、
からだも こころも、ほんとうの
てんしのように、せいちょう
していくのです。





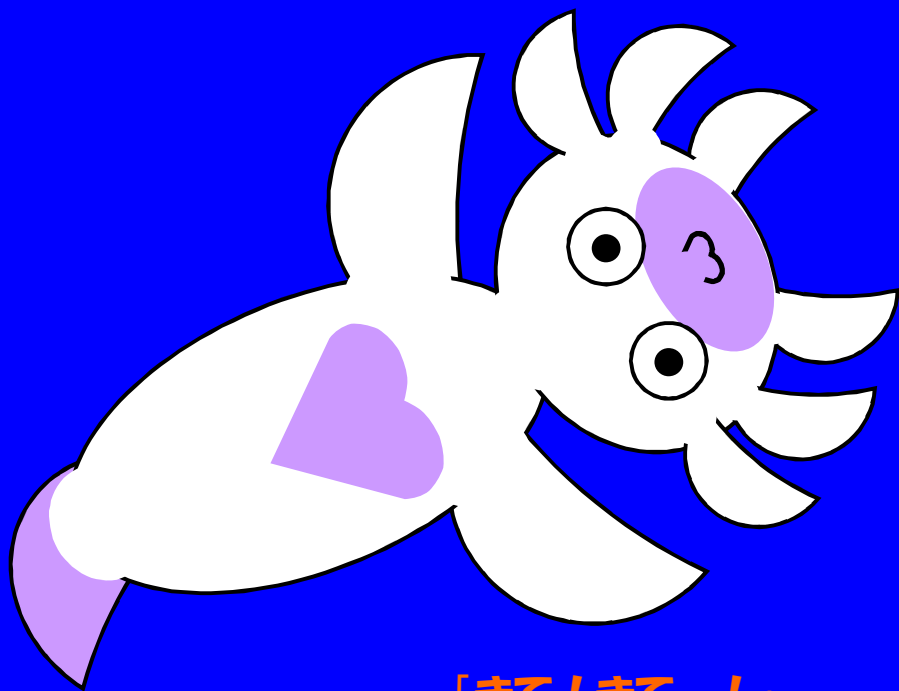
やがて、ほっかいどうの うみから
りゅうひょうが、すがたを けすころ、
グロオネたちの すかたも みられなくなります。

★ちょっとひみつの クリオネ メモ★

クリオネの だいこうぶつは、ミジンウキマイマイ
という かいの なかまです。

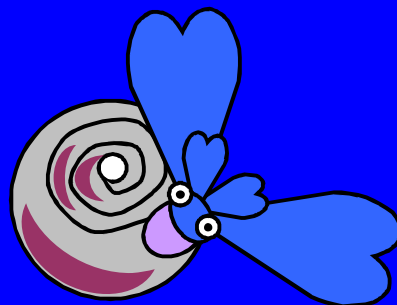
クリオネの 2ほんの つのの あいだには
くちが あります。

このくちには、6ほんの てみたいなものがあり、
これで イノギンチャクのように つかまえて、
食べちゃいます。



「まて！まてー！」

「たすけてー！」



ほくは、ミジンウキマイマイといって、
クリオネとおなじ かいのなかまだよ。

おおきさは、クリオネの あたまと
おなじくらいで、5ミリ ほどだよ。

おわり

バイ バイ

ギョ!

ギョ!

バイ バイ

